

震災復興版
Gyro

がんばろう福島

～ Voices from Fukushima ～



当協会HPをご覧ください。

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から3年9ヶ月が経ちましたが、福島県は今なお原発事故後の問題が多く残っており、たくさんの方が避難生活を強いられています。しかし一方で、公共インフラの復旧や住環境の整備・再生が進むなど復興に向けた取り組みが着実に進んでいます。

(公財)福島県国際交流協会では、震災直後より当協会広報紙「Gyro (ジャイロ)」の震災復興版として「がんばろう福島」を発行しており、福島県の現状や県内の国際交流・協力団体の活動、外国出身県民の声などを紹介しています。

※本紙の翻訳版は、当協会HPからダウンロードできます。



福島の風景

常磐自動車道 浪江から仙台圏まで直結

常磐自動車道は、東京都を起点とし仙台に至る高速道路で、1987年よりいわき市から仙台まで延伸する工事が進められていました。相馬-宮城県・山元 IC (インターチェンジ) 間は2002年に着工しましたが、震災と原発事故で建設工事が一時中断してしまいました。復旧工事と建設が行われ、今年4月に南相馬-相馬 IC 間が開通し、12月6日(土)に浪江-南相馬 IC 間と相馬-山元 IC 間が開通しました。

今回の開通で、浪江町以北の県内市町村が仙台圏と直結し、交通の円滑化により緊急避難道路の機能整備や県外からの観光客の増加など、復旧・復興の加速化が見込まれます。



宮城県・山元 IC で行われた開通式
(写真提供：福島県)

第4回ふくしま応援ツアー

ふくしま青年海外協力隊の会主催による「第4回ふくしま応援ツアー」が、11月29日(土)・30日(日)に開催されました。今回は、北は北海道、南は九州から青年海外協力隊OV約50名が集まりました。参加者の皆さんは、復旧がまだまだ手つかずの富岡駅に驚き、スパリゾートハワイアンズの当時の支配人から、震災直後から数日間の様子や宿泊客のために従業員が奔走した話に聞き入っていました。参加者は一様に、この2日間に見聞きしたことを地元を持ち帰って、きちんと伝達していき、自分にできることをやっていきたいと言っていました。



津波被害がそのままの富岡駅

震災教訓が生かされた最新技術

12月3日(水)・4日(木)に、郡山市のビッグパレットふくしまで「ふくしま復興・再生可能エネルギー産業フェア2014」が開催されました。県内外及び海外の約170の企業・団体が出展し、太陽光や風力、地中熱、省エネルギーなど再生可能エネルギーの最新技術や研究成果を展示していました。また、停電時の電気自動車による電気の供給や非常用マグネシウム空気電池など、震災の教訓を生かした技術も紹介されており、来場者はさまざまな新技術を見て回っていました。



風力発電を体験する高校生たち



福島に暮らす人々の声

荻花・ナンシー・幸さん（会津若松市在住 ブラジル出身）

私の父は双葉町出身で、母方の祖父母が本宮市（旧本宮町）の出身です。幼い頃からブラジル福島県人会の活動に参加していたので、東日本大震災はとても心が痛みました。現在、今年度から再開した福島県費留学生として、会津大学短期大学部でグラフィックデザインの勉強をしています。今回の留学で、福島県という場所でやりたかった勉強ができ、また福島の今の様子を見ることができて、良い機会が重なったことにとっても感謝しています。



サイブヤン オドバヤルさん（福島市在住 モンゴル出身）

震災直後の2011年春に福島大学に留学し、来年春から大学院に進学予定です。大学での企業経営の勉強の他、起業家育成のプログラムやアメリカでのインターンシップを受けるなど、将来ビジネスを展開させるためのノウハウを身につけています。先日、「全国学生英語プレゼンテーションコンテスト」に参加し、「震災復興を加速せよ！」というテーマでスピーチしました。次の世代に必要なことは、強い人材の教育だと思っており、私自身もいろいろな経験をして成長していければと思っています。



澤上 チャンさん（郡山市在住 ベトナム出身）

2007年に来日し、家族と郡山市で飲食店を経営しています。東日本大震災ではお店が倒壊する被害に遭いましたが、その後再建させ、常連だったお客様にも戻っていただけるようになりました。お店にはベトナム出身以外の外国人スタッフもいて、日本語の理解に苦労している人もるので、常にみんなで力を合わせて手伝い合うことを大事にしています。近年、福島県でもベトナム人の技能実習生や研修生が増えてきています。彼らには日本での生活に役立つ情報を提供したり悩みごとの相談に応じたりして、できる限り手助けしたいと思っています。



福島県内各地の環境放射能測定値（暫定値）

出典：福島県庁ホームページ http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec_file/monitoring/sokuteichi.pdf

福島県ホームページでは、県内各地の環境放射能測定値（暫定値）を発表しており、（公財）福島県国際交流協会ホームページでは、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、韓国語にて更新しています。

<http://www.worldvillage.org/>

単位：マイクロシーベルト/時間

日時	福島市	郡山市	白河市	会津若松市	南会津町	南相馬市	いわき市
（平常値）	0.04	0.04-0.06	0.04-0.05	0.04-0.05	0.02-0.04	0.05	0.05-0.06
2014.12.16 9:00	0.23	0.13	0.09	0.06	0.04	0.12	0.08
測定装置	固定型 MP	固定型 MP	固定型 MP	固定型 MP	固定型 MP	固定型 MP	固定型 MP
福島第一原発からの方向及び距離	北西 約63km	西 約58km	西南西 約81km	西 約98km	西南西 約115km	北 約24km	南南西 約43km

※測定地点は、福島市は県北保健福祉事務所南側広場、郡山市は郡山合同庁舎東側駐車場、その他の市町は各合同庁舎の駐車場です。
※平常値は、県内の平成21年度放射線レベル調査結果です。



お知らせ

○外国出身者のための生活相談窓口のご案内

当協会では、外国出身の方々のために外国語で生活相談に応じています。

- 英語・中国語・日本語 毎週火曜日～土曜日 9:00～17:00
- 韓国語・タガログ語・ポルトガル語 木曜日 10:00～14:00
※第4・5木曜日は事前予約が必要です。

電話：024-524-1316(専用) E-mail: ask@worldvillage.org (専用)

発行者

（公財）福島県国際交流協会

〒960-8103 福島県福島市舟場町2-1
福島県庁舟場町分館2階

☎024-524-1315 FAX 024-521-8308

E-mail info@worldvillage.org

URL <http://www.worldvillage.org>